

持統帝之時文武帝大長按戊戌年數不審

大和按元年數不審

〔茅窓漫錄上〕和漢異年號

和邦の年號、大化前後に異年號ある事、藤貞幹が逸號年表に多く載せ、高祿が和漢年契凡例にも並べ挙げたれど、國の正史に見えざれば、紀年の始末、文字の異同ありて、皆後世より臆斷するもの、いづれも確說とはいひがたし、故に如是院年代記、繼體帝十六年善記注に、或曰繼體天皇自十六年始めて年號在之云々、分者朱にて書之、年數相違之處在之不審とあり、漢土の異年號も、建元以前にあるもの、大率同じ、紀年の始末臆斷し難し、諸書に載する所、その異同を擧ぐる事左のごとし。

和邦異年號

列滴孝靈帝之時、紀元始終未詳。重至應神帝之時、紀元始終未詳、一說神功皇后攝政四年。元四年終、同五年改元、是字下一字磨滅未詳、歷年四年後無紀。丁未改元四年終、如是院年代記正和元太子立年六十年代丙辰海東諸國記作發到。寶元安閑帝二年乙卯、紀元五年後無紀。東諸國記、如是院年代記皆同。古代年號水鏡二本至五年。明要欽明帝二年辛酉、紀元十二年終、春秋曆略年代記、皇代記作明安、古代年號九年改元得字下一字磨滅未詳。諸國記作同要、貴樂欽明帝十三年壬申改元二年終、年代記、皇代記作法清、海東諸國記作結。兄弟記、春秋曆略、諸國記如是院皆同。一代記作法清、海東諸國記作結。已卯改元五年終、年代記、春秋曆略、諸國記皆同。古代年號二十年改元、如是院作藏和。師安欽明帝二十五年甲申改元一年終、年代記、皇代記作和僧。金光欽明帝三十一年庚寅改元六年終、年代記、皇代記作和僧。一代年號知僧欽明帝二十六年乙酉改元十五年終、年代記、皇代記作和僧。元祐欽明帝三十一年庚寅改元六年終、年代記、皇代記古